

みんなの質問 ～さあ、ミライの話をしよう～



従業員が感じる「現状(今)」と会社の「将来像(未来)」を「繋ぐ場とする」
「適切な労働時間」について質問します！

『安心して働くことのできる職場環境づくり』に向けた 労使共同宣言

労働時間管理ルールの遵守と業務改革に取り組みます

- ・ 労働時間の正しい記録を徹底します
- ・ 全員が業務改革に取り組みます
- ・ 対話を通じて推進します

いかなるハラスメントも絶対に行わず、一切許容しません

- ・ 共に働く仲間と自分自身の両方を大切にします
- ・ 正しい知識と高い意識をアップデートし続けます
- ・ 見て見ぬふりはしません

川上さん



➤ 6月17日に発信された適正な労働時間管理ルールのモニタリング指標を
変更した理由を教えてください。

➤ 労働の記録を正しく残したい。打刻を1回でもしないと正しい労働状況が把握できなくなってしまいます。1回でも未打刻はやめよう・1回でも休日出勤はやめようというのがメッセージとしてあります。1回たりともなくしたいと思ってモニタリング指標を決めました。

神林さん



➤ 労使共同宣言の内容については「人の力で」という企業スローガンを出しているので、健康が第一で、適切な労働時間、正しい時間を管理により、どこの部署で超過労働をしているのか把握していきます。そのうえで、3つのステップで見直そうと思っています。

《業務改善→人数を変える→組織を越えて仕事を分担する》

労使共同宣言のひとつとしてみんなで取り組みます

①打刻する(現状を知る) ②改善の種をみんなで探す ③改善に向けてみんなで話し合う



川上さん

- ▶ **業務が終わらないから仕方ないという声もあります。打刻をしないと現状把握も出来なくて業務改善につながらないのではないのでしょうか**

神林さん

- ▶ 上司が来てるから出社する、残業するというのはやめていきたいと思っています。
- ▶ プロは自分の仕事に誇りを持っています、自分に与えられた仕事が終わったら帰ります。
- ▶ プロフェッショナルリティーがないと仕事に自信が持てなくて、なんとなく残ってしまいます。
- ▶ 業務改善と合わせてプロとしてのスキルを磨くことも大事だと思っています。
- ▶ 根本的な原因はプロフェッショナルリティーが低いと無駄な仕事をしてしまうこともあるということ、ひとり一人のスキルアップが効果的だと思っています。

神林さん

良い仕事をする為には、ワークライフバランスが必要です。

- ▶ 長時間机に向かってもいい考えが浮かぶことは経験上少ないと思っています。
- ▶ 違う景色を見たり、違う話をしたりすることで大きく考え方が進歩したり違う角度から見えるようになることもあります。
- ▶ 与えられた時間内で一旦終了し、翌朝出勤してきて変化があれば早く帰ったおかげです。
- ▶ 夜中まで働いていると脳は二日酔いと同じような状態になって、いい仕事は出来ません。
- ▶ 僕の立場からは「お願いだから帰って」という気持ちです。長い時間働いてもいい仕事はできないと思います。だから早く帰ってほしいです。
- ▶ 皆さんは打刻をして労働の証を残し、マネジメント層は、はみ出た仕事の業務改善にあらゆる手を尽くし、皆さんは労働時間中の業務改善を一生懸命実行していただきたいです。
- ▶ 経営マネジメントと現場両方で業務改善を一緒に実行していきましょう。
- ▶ 辛かったら声を上げて欲しいです。打刻と打刻の間が労働時間で、自ら仕事を抱え込み休日に仕事を行うと悲壮感が漂い、体は元気でも心が病んでしまう人がいます。
- ▶ 仕事は1人じゃなくて組織みんなでやるものです。個人の頑張りが足りないとき指示がある時もあります。そこはマネジメントの難しいところです。

川上さん

業務単位で考えると考えが凝り固まってしまう時がありますが、時間単位で区切ってメリハリをつけてワークライフを分けることが大事だと思いました。

インタビュー動画の視聴、感想・今後取り上げて欲しいテーマ等アンケートへのご協力をお願いします🙏

アンケートはこちら



インタビュー動画はこちら



■公式マスコットキャラクター
「イングちゃん」

発行所：三越伊勢丹グループ労働組合

北海道統括支部 札幌丸井三越支部

外線：(011)205-2525 内線：22525

発行人：木村 正男

